

よこはま動物園ズーラシア ポーランドからユーラシアカワウソが来園しました！

令和6年11月13日(水)にワルシャワ動物園(ポーランド)からユーラシアカワウソの「ニサ」(メス・2歳)が来園しました。

来園した日からエサをよく食べ、落ち着いて過ごしています。今後は、個体の様子を観察しながら、展示を行っていきます。

なお「ニサ」の来園には、皆様からの寄附などを積み立てている「横浜市動物園基金」を導入費用として活用しています。



▲来園した個体(愛称:ニサ、写真上)

横浜市動物園基金について

横浜市では、生物多様性の保全への国際的な貢献と動物園の充実を進めるため、「横浜市動物園基金」を設置しています。基金では、皆様からのふるさと納税や企業からの寄附などを積み立て、これをもとに繁殖に取り組むための動物を海外から導入し、絶滅の危機に瀕している野生動物の保全と繁殖を動物園で進めます。



横浜市SDGs認証制度



指定管理者:(公財)横浜市緑の協会



裏面あり

お問合せ先

【動物園基金に関する事】横浜市みどり環境局公園緑地部動物園課長 白井 智廣 045-671-2607

【動物に関する事】(公財)横浜市緑の協会よこはま動物園 副園長 久保 良法 045-959-1298



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月~9月 横浜・上瀬谷



【参考資料】

■今回来園した個体

ニサ（メス）	令和4年4月29日	ワルシャワ動物園生まれ
--------	-----------	-------------

■ユーラシアカワウソについて

和名	ユーラシアカワウソ
英名	Eurasian Otter
学名	<i>Lutra lutra lutra</i>
分類	食肉目 イタチ科
分布	ユーラシア大陸に広く分布
生態	ツンドラ以南のユーラシア大陸全土の淡水域や条件によっては海岸付近でも見られ、カワウソ類の中では最も広い分布域を持っている。餌は魚、カエル、甲殻類などの魚介類が中心。基本的には単独で行動し、夜行性のため日中は木の洞などの巣で休むことが多い。かつて良質の毛皮を狙った狩猟によって生息数が激減し、近年でも川の汚染などの環境破壊によって生存が脅かされている。
ワシントン条約 (CITES)	附属書Ⅰ：絶滅のおそれのある種で取引による影響を受けている又は受けるおそれのあるもの
国際自然保護連合 (IUCN) レッドリスト	準絶滅危惧種 (NT)：現時点では絶滅の危険度は小さいが、環境の変化によっては「絶滅危惧」になる可能性のあるもの
当園飼育頭数	欧州亜種7頭（オス3頭、メス2頭、不明2頭） ※今回来園した個体を含む
国内飼育園館	欧州亜種5園館 9頭（オス6頭、メス3頭） ※令和6年1月1日現在

■よこはま動物園ズーラシアについて

- ◆入園料：大人800円、中人・高校生300円、小・中学生200円、小学生未満無料
毎週土曜日は高校生以下無料（要学生証等）
よこはま動物園・金沢動物園共通年間パスポート 18歳以上2,000円
- ◆開園時間：9:30～16:30（入園は16:00まで）
- ◆休園日：毎週火曜日（祝・休日の場合は開園し、翌日休園）12/29～1/1
- ◆交通：相鉄線「鶴ヶ峰」「三ツ境」駅から「よこはま動物園」行きバスで約15分、JR横浜線・横浜市営地下鉄「中山」駅から「よこはま動物園」行きバスで約18分、「横浜」駅から「よこはま動物園」行きバスで約1時間
- ◆URL：<https://www.hama-midorinokyokai.or.jp/zoo/zoorasia/>
- ◆住所：横浜市旭区上白根町1175-1
- ◆問合せ先：045-959-1000



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

